

38. コンピュータ章・新

★ 考査員認定

	考査細目	考査方法	考査のポイント
(1)	次のことができること。	口述または記述	コンピューターを実際に用いての考査が望ましい。
ア	コンピュータの歴史について説明する。		
1	コンピュータの仕組み及びハードウエアとソフト ウエアの違いとその役割について説明する。		
ウ	アナログ信号とデジタル信号の違いと、どこで使われているかについて説明する。		
エ	10進法、2進法及び16進法について説明し、与えられた数字を3種の進数で表記する。		
(2)	次のことができること。	口述または	_
ア	入力装置を4種類以上あげて、その特徴について 説明する。	記述	
イ	出力装置を4種類以上あげて、その特徴について 説明する。		
ウ	記憶装置を4種類以上あげて、その特徴について説明する。		
エ	各種ケーブル(端子)の種類を列挙し、どのような 機器で利用されているか分類する。		
(3)	プリンター・スキャナーなど、外部入出力装置を 5種類パソコンに接続し、実際に使用できること。	実演	_
(4)	パソコン内蔵のメモリ・ハードディスクなどのハード ウエアを交換できること。	実演	
(5)	以下について方法を説明し、実演すること。	実演	_
ア	OSをアップデートする。		
1	添付ファイルを付けたメールを送受信する。		
ウ	複数ファイルをひとつにまとめ圧縮し解凍する。		
エ	データをバックアップする。		
(6)	現代社会における情報・通信技術について以下を 説明し、自身の見解を述べること。	発表	_
ア	一般社会での利用状況と人間生活との関連		
1	学校での利用状況と学習向上にもたらす効果		
ウ	依存することの是非		
(7)	新聞やインターネットの報道で、情報・通信技術 に関する新しい技術を見つけ、内容・応用分野・ 今後の進展などを報告すること。	報告書の 提出	

⊖メモ

コンピューター章は、2019.4に再設定されました。